

2021年7月4日

きょうかいがっこうコーナー

ねんかんたい しゅじつ  
年間第14主日

ふくいん マルコ 6・1～6

7がつになってドンドンあつくなってきましたね。みなさまいかがでしょうか。きょうかいには、6がつ27にちからごミサがあるので、きてね。

そのとき、イエスはこきょうにおかえりになったが、でしたちもしたがった。あんそくびになったので、イエスはかいどうでおしえはじめられた。おおくのひとびとはそれをきいて、おどろいていった。「このひとは、このようなことをどこからえたのだらう。このひとがさずかったちえと、そのてでおこなわれるこのようなきせきはいったいなにか。このひとは、だいくではないか。マリアのむすこで、ヤコブ、ヨセユダ、シモンのきょうだいではないか。しまいたちは、ここでわれわれといっしょにすんでいるではないか。」このように、ひとびとはイエスにつまずいた。イエスは「よげんしゃがうやまれないのは、じぶんのこきょう、しんせきや、かぞくのあいだけである」といわれた。そこでは、ごくわずかのびょうににてをおいていやされただけで、そのほかはなんにもきせきをおこなうことがおできにならなかった。そして、ひとびとのふしんこうにおどろかれた。それから、イエスはふきんのむらをめぐりあるいておおしえになった。

リーダーはとうきょうにすんでいたとき、しゅうどういんのおみどうにまいにちようびたくさんのかたがたがいらっしていましたので、そのためにいろいろなしんぶさまにたのんでごミサをたててもらっていました。あるひ、しんぶさまがはなしをはじめられたときに、きゅうにみなにこのようなしつもんをされました。「きよのあさからいまのじかんまで、であったひとのことをおもいだしていますか」「それぞれのかおをおぼえていますか」「なんにんにであいましたか」ときかされたとき、じつは、どなたのこともおぼえていませんでした、ショックでしたね。そのきっかけで、いつもあたまにうかんできています。そのときから、であうひとのことをこころにとめて、しあわせをいのるきもちがいまでもあります。きょうのふくいんしょでは、イエスさまがながねんすんでいたナザレのひとたちはイエスさまのことをなんにもわかっていませんでしたね。イエスさまはこのむらのひとたちのふしんこうにおどろいていました。

わたしたちもおなじようなことをしていませんでしょうか、じぶんにあうひとは「よいひと」じぶんにあわないひとは「わるいひと」ときめていませんか。いちにちのあいだにいろんなひとにであいます。ひとりひとりのなかにイエスさまがいらっしていています。イエスさまはそれらのひとをとおしてわたしたちにあいにこられます。

イエスさまのようにまわりのひととのであいをたいせつにしましょうね。

かぞくのひと、おともだち、ちかくにいるかたがたをおもいだしながら、それぞれのひとの「よいところ」をみつけて、やさしいきもちでみとめましょうね。またほめてあげてね。とてもやさしいきもちになりますよ。